

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第6回板倉区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○協議事項

・地域活動支援事業(追加募集)の審査について（公開）

### ○その他（公開）

## 3 開催日時

令和3年8月20日（金）午後6時00分から午後7時30分まで

## 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、  
植木節子、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健  
秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊（1人欠席）

・事務局：板倉区総合事務所 川瀬所長、高波次長（総務・地域振興グループ長  
兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、大堀建設グループ長、丸山  
市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、小池地域振興班  
長、成見主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【高波次長】

・会議の開会を宣言

### 【平井達夫会長】

- ・挨拶

【川瀬所長】

- ・挨拶

【平井達夫会長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

4「協議」（1）地域活動支援事業の審査について、事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

資料1は、採択方針における審査方法により、板倉区の採択方針との整合及び共通審査基準の合計が高い順に申請事業を並べ、優先して採択すべき事業の次にその他の事業を記載した。なお、採択すべきでない事業は無かった。委員が採点した各審査項目の平均点の合計を出したが、各項目の平均点については、各委員の点数を合計し、採点者の数で割った点数の小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの表記とした。

また、事業提案者に地域協議会委員が含まれる提案は「和太鼓による地域活性化事業」の1事業で、庄山委員が該当するので、13人の採点になった。

その他の事業は「板倉文化散策観光マップ作成事業」の1事業であった。板倉区の採択方針では「優先して採択すべき事業」「その他の事業」「採択すべきでない事業」の判断は委員の過半数により決定することとなっているが、この事業については「優先して採択すべき事業」とした委員は7名で過半数に達していないため、「その他の事業」に区分されたので一番下の枠に記載した。

板倉区の採択方針では、優先して採択すべき事業の得点の上位の事業から審査を行い、採択額を決め、配分額に残額がある場合は、その他の事業の得点の上位の順から審査することとしている。

本日は「採択すべき事業の選定及び採択金額の確認」、「提案団体への地域協議会の意見の取りまとめ」について、協議をお願いしたい。希望額の合計が板倉区の配分額198万5千円を197万8千円超過している。

なお、板倉区では点数上位の事業から順に採択額を決定していくが、採択額の合計が198万円5千円に達した場合、それより下位の方の事業は採択額は0円とな

る。また、逆に減額する事業が多く、最下位まで決定した後、残額がある場合でも、一度決定した採択額を増額することはできない。

- ・資料1 令和3年度地域活動支援事業（追加募集）採点結果一覧【得点順】について説明

**【平井達夫会長】**

事務局の説明について、意見・質問等がある委員の挙手を求める。

**【田中睦夫委員】**

得点の上の方から採択した場合、この2つの事業で予定額198万5千円をオーバーする。合計で198万5千円に合わせなければいけないが、その辺の方法について説明していただきたい。

**【平井達夫会長】**

残額があれば3回目の追加募集を行う区もあるが、板倉区においては追加募集が1回で終わりということで、まずその事を頭にいられていただきたい。それと、優先順位1番と2番の事業を足しても今回の予算を少しオーバーする。そういう中で、はみ出た金額は団体の方で努力してもらおうという形が1つの方法である。他にないか。

**【池田光男委員】**

追加募集は採点するのに苦労したのだが、点数の良い事業から金額を決めていけばよいと思う。当初募集で提案された事業の方は真剣さが伝わってきたが、追加募集は予算が余ったようだから出したという感じだった。

**【平井達夫会長】**

他にないか。

**【小林政弘委員】**

会長の追加審査に対する考え方は理解できる。一方、今ほどの話もそうなのだが、今回の追加の提案にあたり、それぞれの事業展開する意図、本来であれば当初募集に出すべきであって、追加で余ったからこうだというやり方では腑に落ちないところがある。それらも含めて3回目はないという話もあるので、しっかりとしたルール作りをされた方が良いのではないか。

**【平井達夫会長】**

地域活動支援事業の審査基準検討部会があるので、次年度に向けていろいろ出た意見について話し合いたい。

**【長藤豊委員】**

今回は、審査基準検討部会で決めた内容に則ってやるという事で、先ほども事務局から説明があった訳なので、それに則って進めるだけで良いのではないかと思う。

**【平井達夫会長】**

今回は長藤委員の発言のとおり進めなければいけないと思う。色々問題はあるわけだが、今後に活かすためにも審査基準検討部会で揉んでいきたい。

他に意見が無いようなので、提案事業の審査に入る。

「吹奏楽部の活動を通して地域と触れ合う事業」について、採択すべき事業としてよろしいか。

(異議なし)

では採択金額について協議する。意見のある委員の挙手を求める。

**【田中睦夫委員】**

提案事業者から「減額される場合は辞退したい」という意見は事務局の方に届いているか。

**【平井達夫会長】**

事務局の説明を求める。

**【小池地域振興班長】**

事務局の方には、そのような意見は届いていない。

**【平井達夫会長】**

他にないか。

**【長藤豊委員】**

今年はヒアリングの際に説明が無かったが、昨年の場合は必ず減額された場合はそれでよいかという確認を各事業ごとにしていた。もし、減額されたらそれなりに考えていただくしかない。

**【平井達夫会長】**

他に意見はないか。色々な楽器の種類、値段があり、例えばこれを削った場合に

はどうだというような判断は中々できない。一方、今回こういう追加募集という形の中で出てきた訳だから、ある程度選別ができるという意見もあると思う。

**【庄山健委員】**

今回、15種類の楽器が提案されており、必要な順番で番号を振っている中ではスネアドラムが1番、2番目がウッドブロック5音セットスタンド付きとなっている。1番から6番までにすると52万3千円位だが、全部じゃなくても来年度にまた提案してもらったらどうか。

**【小林政弘委員】**

あまりにも楽器は高価であるため、前回楽器を整備した時は70周年記念で後援会でも負担していただいた。財政基盤が非常に乏しいので中学校としてどうするのか、後援会またはPTAで協議をしていただきたいと、意見として中学校側に出すべきと思う。

**【平井達夫会長】**

いま提案の中で、上から6項目という事で具体的な話が出た。トータル的には50万という話が出ているが、他に意見はないか。

**【西田節夫委員】**

指導者用の譜面台や椅子は必要なのか。この2つを減額すれば良いのではないかと思う。各楽器については皆さん色々あるが生徒が皆一緒に練習するので、指揮者とか譜面台とか後で良いのではないかと思う。

**【平井達夫会長】**

指導者用の譜面台と椅子はカットして良いのではないかという意見であったが、他にないか。

**【長藤豊委員】**

減額について、本当にこれが必要なのかと質問させてもらったが、他に代用が無いという回答があったので、何でもかんでも欲しい物を並べてる訳でもないと思う。こちらで簡単にこれは良いんじゃないかと判断できないような気がする。優先順位付けとしては1番から15番まである訳なので、減額するとしたら後ろからという形を取るべきじゃないかと思う。

**【平井達夫会長】**

いま提案のあったのは優先順位の下の方からカットした方が良いのではないかという意見であった。どれをカットしたらいいか、案があれば出してほしい。

**【長藤豊委員】**

もし、満額じゃなくてカットするということになったら優先順位の低い方からという話である。私としては満額で良いと思っている。

**【平井達夫会長】**

長藤委員の意見は満額で良いということであった。事務局から説明を求める。

**【小池地域振興班長】**

もし、減額するとなると減額理由をしっかりと説明できるようにしないとイケない。提案者が納得するような説明が必要なので、その辺をよく考えてご協議願いたい。

**【平井達夫会長】**

事務局から、減額する場合は地域協議会として理由は何々だと、提案者へ説明しないとイケない。だから説得力のある理由でないと具合が悪いという事務局の説明である。他にないか。

**【吉田重夫委員】**

重複する話だが今回の吹奏楽については満額でよいと思う。ただし、中学校もある程度の期間で楽器というものは消耗していく中で、自主的に積立金等を築いていただき、次に備えてほしいと申し添えていただきたい。

**【平井達夫会長】**

意見としては、そういうものを申し添え地域協議会としては満額で良いという意見であった。採決を取ることとしてよいか。

(異議なし)

では、満額の99万6千円で良いという委員の挙手を求める。

(挙手多数)

それでは、「吹奏楽部の活動を通して地域と触れ合う事業」については満額ということで決定する。なお、地域協議会から意見として、今後楽器の整備について積立等検討するよう意見があったことを伝えてほしい。

**【小池地域振興班長】**

承知した。そういう意見があったという事で伝える。それでは今残額が98万9千円になったので審議をお願いしたい。

**【平井達夫会長】**

続いて「芝桜とこいのぼり・春の競演事業」について、意見のある委員の挙手を求める。

**【西田節夫委員】**

昨年新しく委員になられた方が10人いるので、今までの当事業の経過の資料を持参したので見ていただきたい。

(資料配布)

見ていただくと、平成27年からずっと毎年この事業をやっている。それを承知した上で皆さんから協議をして決めていって欲しい。芝桜は毎年で、それから重機は4回。重機だけでも何百万円も使っている。もし地域活動支援事業が無くなったらどうするのか、維持できないのではないか。協力金を今回初めて頂いてという話があった。40万円集まったということであった。これから毎年40万円なり50万円集まるかどうか分からない。本来は芝桜は水はけの良い所じゃないと育たないし病気になる、今回も病気になってダメになったという話である。ここ何年か消毒液を買って消毒してた訳だが、間に合わない。中々難しい問題である。提案者から水はけの面なども勉強しながらやっていただければこんなことにならなかった訳である。まあこれから皆さん協議をしてこのまま採択するのかどうか決めていただければと思う。

**【平井達夫会長】**

今、西田委員の方から説明があった。流れとしてはそういうことだが、今回提案が出ている分について皆さんの意見をいただきたい。他にないか。

**【長藤豊委員】**

今の説明について、そうであればなぜ質問事項で挙がってきてないのか。要は、この段階になってそういう点に対して、十分勉強して欲しいと言われるのはちょっと違うのではないかという気がしてしまうがどうか。

**【西田節夫委員】**

私は提案団体の役員に何遍も話はしてきているが全然聞く耳を持たないようだ。

私もやすらぎ荘が発展していくのは良いと思っている。やはりこれからの維持をきちっとしていただきたい。

**【平井達夫会長】**

芝桜については5年間で300万円以上投入されたという事で今後についても非常に懸念される問題だという意見であったが、令和3年度の追加の提案事業についてご審議いただきたい。委員の採点では得点順で2番目である。他にないか。

**【長藤豊委員】**

ヒアリングの際に現在は考えていないクラウドファンディングを利用して今後の事は計画してもらいたいという意見を申し上げているので、採択した上で、またそういった意見が出たという事を付け足して回答していただければ良いと思う。

**【平井達夫会長】**

他にないか。

**【小林政弘委員】**

年々関係者の努力によって集客効果が出てきていると思う。300何万円掛けて、費用対効果の面では徐々にだが拡大をしてきているという事になれば、やはりこれからの期待を含めて評価すべきではないか。満額とは言わなくてもある程度は認めてやるべきである。

**【平井達夫会長】**

ただ今の意見は採択すべきだという意見が大勢なので採択することでよいか。

(異議なし)

続いて、採択金額について協議する。今回受け付ける時に提案団体の方から減額した場合どうなのかという話し合いはなかったという話だが、芝桜についてもやはり同じことか。例えばこの中に色々な項目があるが、この中でどれを削ったらという問い合わせはしていないのか、もう一回確認したい。

**【小池地域振興班長】**

そういった確認はしていない。

**【平井達夫会長】**



素人考えだが、重機を使って汚染土壌を除去するとか、シートを張り替えるとか薬といったものが載っている訳だが、これを削るといのは中々判断付かないのではないか。

**【西田節夫委員】**

自主財源で15万7千円入れているが、協力金もいくらか残っている訳だから予算の残額で採択したらどうか。これからも毎年問題が出てくると思う。私たちの町内でも隣組で色んな取組があるが、みんな有志でやっているし、借り入れをして行ってる訳である。だからここも自分たちで汗をかいて欲しい。借り入れをして協力金で返していく方法もある訳なので、そこら辺を考えておいていただかないと地域活動支援事業がなくなったので、全部終わりという話ではちょっと私は納得いかない。ずっと続けていくためにも自分たちも汗をかきながらやって欲しい。

**【平井達夫会長】**

他にないか。

**【下鳥治委員】**

皆さんにお尋ねしたい訳だが、いま板倉区内に何があるか。他の市町村に誇れるものって何かあるだろうか。私は、今後のやすらぎ荘を含め、やすらぎ荘周辺の整備というものはとても大事になってくると思う。市長選挙もあるが13区というものは非常に見直されてくると思う。その時に板倉区にはこういうものがあると、一生懸命やっているじゃないかと。そういうものは捨ててはいけないと思う。やすらぎ荘が確かに非常に経費がかかっているというところは理解しているつもりではあるが、パイプの方は止めましょう、芝桜の苗を買うのは止めましょうということではない。全部ぐるっと周ってひとつの芝桜が、あるいは色んな植物が綺麗に咲いてくるということをご理解していただきたい。確かにお金も相当つぎ込んであるかと思うが、物は生きている。一回植えたらそのままでいくなんていう事はあり得ない。その辺のところを理解して何らかの形で支援したい。

**【平井達夫会長】**

他にないか。

**【長藤豊委員】**

私もそう思う。残額を見ると要求されている額に11千円不足している。今現在自主財源で15万7千円を出される予定となっているので、それが16万8千円になるくらいの努力はお願いして、残額全額をここに出してやるのが良いのではないか。

**【平井達夫会長】**

長藤委員から具体的な数字が出た。その他なければ採決をとってよろしいか。

(異議なし)

では、要求額から1万1千円を減額し9万8千9百円でよいと思う委員の挙手を求める。

(挙手多数)

では採択額は9万8千9百円で決定する。今日色々意見が出たが、提案団体には今後の財源についてよく検討してほしい。上越市からはやすらぎ荘の芝桜の予算というのは認められないという話である。地域活動支援事業も上越市の予算だが予算の枠が違う。今後どうしたらいいのかという意見も色々出た。今の時代は、情報発信してインターネットを駆使してお金を集めるという形で予算建てしていくという方法が考えられるのではないか。そして地域活動支援事業があればそれにトライするのもよいが、やはり固定した考え方が無いと維持していけない。地域協議会からいろいろな意見が出たと、十分その辺を網羅してしっかり提案団体に伝えていただきたい。私の方からお願いだが、採択された2件については総合事務所にお越しいただき説明してほしい。特に芝桜についてはメンテナンスとか色々ある。やはり物を植えれば整備しなければいけない。何人の担当でやっているのとか、どれくらいのサイクルでやっているのとかそういうことも聞いてほしい。

**【小池地域振興班長】**

承知した。

**【平井達夫会長】**

それでは、この2件、「吹奏楽部の活動を通して地域と触れ合う事業」、「芝桜とこいのぼり・春の競演事業」を採択することとし、これで追加募集の残額は0円になった。後の5つの事業については審査はしない。以上で審査は終了する。

審議結果を令和3年度地域活動支援事業追加募集の審査結果として地域協議会から市へ報告する。今日出た審査に関する問題については地域活動支援事業の審査基準検討部会で検討していき、次年度以降に活かすということでご理解いただきたい。

次に5その他について事務局から何かあるか。

#### 【小池地域振興班長】

事務局から報告がある。まず例年11月に開催している板倉ふれあいまつりについて、昨年度は新型コロナウイルス感染症のため中止だった。今年度は関係者で検討した結果、まつりは中止だが、11月7日の日曜日、1日限りの特別企画として、作品展示や物産販売、イルミネーションなどを行う「いいなっ板倉のまちアート」というイベントを行うことになった。板倉まちづくり振興会の8月25日発行の「まちづくり通信」で皆様のご家庭にご案内をさせていただくので、そちらをご覧ください。昨日、板倉まちづくり振興会の専門部会の方でも説明があったので、役員の方はご存じかと思うがよろしくお願ひしたい。

次に、次回の会議であるが、現在、急ぎの案件がないため、議題が出てきたら会長、副会長と日程協議の上ご案内させていただきたい。それから委員の視察研修については10月の中下旬の予定ということで、こちらは会長、副会長と協議をさせていただき、内容が決まり次第委員の皆様には書面でご案内をさせていただく。

それから各部会について、産業・建設部会が来週の8月25日に開催される。また、健康福祉部会は9月28日に民生委員との意見交換会を予定している。地域振興部会については部会を行った後、意見交換会を行うと聞いている。

#### 【関根産業G長】

産業グループからやすらぎ荘の営業時間について報告させていただく。本来、やすらぎ荘の営業終了時間は午後8時までだが、現在、新型コロナウイルス感染症が終息せずに入館者の増が見込めない状況にある。現在も本来の午後8時の終了時間を30分前倒しして午後7時30分とさせていただいているが、こちらの運用を11月30日まで延長するという事で報告をさせていただく。

#### 【平井達夫会長】

それでは次回の会議については事務局から説明のあったとおりとする。今年度第

1回の会議で6地区との意見交換会を行うということになっていたが、新型コロナウイルス感染者の発生が市内でもあり、町内会行事も中止したりしているため、開催について十分に検討した結果、今年度は中止する。皆様のご理解をいただきたいと思う。各部会の方で様々な団体と意見交換会を行ったり、部会の中で地域の課題について話し合っていたら、適宜地域協議会でご報告をいただきたい。

他に委員から何かないか。

#### 【長藤豊委員】

地域振興部会の方だが、今、板倉まちづくり振興会の方に意見交換会を申し入れ、打合せをしたが、振興会の方から色々注文があった。これはこちらの部会だけではなくて他の部会でも意見交換する際には参考になると思うので、簡単に説明させていただくが、団体がどのような事を行っているのかを改めてその場で説明をしていただきたいという申し入れをしたところ、それはどういうことかと。事前に団体の方を十分調べて理解した上で、理解していればどんなことがお困りですかと、そういうような意見の話の持って行き方になるんじゃないかと、そういう事を言われましたので、こちらも部会を開いてその辺を徹底した上で実際の打ち合わせに臨みたいと思っている。打合せは急ぐことはないので、この8月、9月とか言わず、その辺をしっかりとってきて欲しいと言われた。それと、地域協議会の委員が教育されていないと。かつては色々教育があったということなんだけど、ただ単に委員になり、会議を重ねた上で色々な話をしているだけで、どういった事をしなければならないかとか、どういった事が出来るのかとか、そういった事に対する勉強が足りていないというようなことをおっしゃっていた。地域協議会の委員に対するアンケート結果が皆さんにも届いていると思うが、あの中を見ると確かに私が思っている以上のことが出来るんだなと感じるので、併せて勉強して実際の意見交換に向かいたいと思っている。教育というのを含めた意見交換に限らず、勉強会として改めてやっていく必要があると思うので、後ほど整理して会長等にもお話ししたいと思う。もしそうなったらお願いしたい。

#### 【平井達夫会長】

その他、今ほど地域振興部会から補足説明があったが、健康福祉部会、産業建

設部会から何かあれば良い機会なので発表していただきたい。

**【田中睦夫委員】**

産業建設部会は、先ほど事務局から説明していただいたように部会としては来週25日に再度の部会を開催する。部会からではないが、先ほど6地区との意見交換会を今年度中止するという事で会長から話があった。昨年もコロナの関係でこういう動きというのが中止になり延期されている。今回もそういう結論という事でお聞きしたが、私だけでなく今回10人の新しい地域協議員がいる。立候補の時のうたい文句に私も書いたが、地元の声を吸い上げて何とか上位機関の方へ反映していきたいと、何人かの意見があったかと思う。そういう事が中々出来ないということを出さないで済まして良いのかという葛藤がある。例えば、この地域協議会、毎度同じ顔触れで20何名の方が会議を開いている。このくらいの会議で問題ないという事であれば、6地区の意見交換会もこれ程にならない人数の中で開催が出来るのかなと私は考えている。今回中止という事でお聞きはしたが、行政側の方ではどこの人数までだったら開催が可能なのか。このくらいだったら問題はないということであれば、私はもっと前進的な考えで地域との意見交換会をすべきではないかと思うが行政側のお考えをお聞かせ願いたい。

**【平井達夫会長】**

事務局の説明を求める。

**【高波次長】**

会議の人数的な制限と言ったらいいのか、基本的な対処事項というところでキャパシティの半分程度というのがある。それはそれとして、6地区で規模を縮小してと言ったらいいのか、出来る範囲でというご意見だと思う。今ほど会長の方でそういうまとめもされたが、必要とあらば正副会長と再度話し合いをしていければと思う。

**【田中睦夫委員】**

もちろん人数的な制限ということで枠もあるかと思うが、6地区の意見交換会を人数的に考えた場合はそれほど大人数になるとは私は考えていなかった。会場の設定であればコロナ禍が問題ないなら、これで密は避けているという考えで今までも会議をやっている訳だから、そうであれば問題が無いと私は判断する。地

元の意見を吸い上げたり、意見交換をするというのが一番大事な場かと思う。私は今までそう思っていた。それが出来ていない中でコロナという事で今何でも片付けられる時代となっているが、果たしてそれで良いのかという疑問があったので質問した。今年度は中止という事はお聞きしたのでそれはそれで結構だが、来年度に向けてもコロナが終息するという保証はないので、このままずっと出来ないのかという問題は色々ある。その辺についても事務局サイドのご指導等をいただければと思っている。

【平井達夫会長】

事務局の説明を求める。

【高波次長】

我々としても、地区に出て行っていろいろ生の声を聞くというのは非常に重要なことと思っているので、可能な限りというか考慮しながら、進められる状況であればしっかりと進めていきたいと思っている。

【平井達夫会長】

他にないか。

【西田節夫委員】

市議会議員さんから色々な事で聞くと、会議は大体30人以内だそうである。30人以内だったら良いですよという話だった。事務局も確認してみたいが、恐らく30人以内なら良いかと思う。

【高波次長】

一律に人数ではなくて会場の大きさ等々あるので、その辺は一律30人であれば良くてというものではないかと思うので、またその辺は会場設定等々していければと思う。

【平井達夫会長】

他にないか。

【小林政弘委員】

健康福祉部会について、9月28日に民生委員の会長、副会長と懇談会を行う予定であるが、事前打ち合わせを行い、有意義な形で懇談会に臨もうと思っている。

【平井達夫会長】

3部会の報告があった。他にないか。

【長藤豊委員】

私は自分自身で問題ないと思っているので今日ここに来たが、実は今週ある医院へ用があつて行ったところ待合室にも入れてもらえなかった。理由は二週間以内に県外から来た人間と会っているからという事だった。実際、県外から来た人は弟だが、東京でPCR検査をして陰性の証明をもらった上で来ているので、私は問題ないと思って会っているから、今日もここへ出てきた。その説明をしても医院の方では、受け入れてもらえなかった。来る人間が証明してくれているのであれば良いんじゃないかと思って来ているが、問題ないか。それが問題と言うのであれば私がここへ来ていること自体が問題なのでその辺のご意見あれば聞かせていただきたい。

【平井達夫会長】

事務局として何かないか。

【高波次長】

証明というものをしっかりと取られて陰性というのであれば、問題ないと思う。我々お互いに感染症対策をしっかりと行っていきながら地域協議会を開催していきたいと思う。

【平井達夫会長】

他にないか。

【植木節子委員】

常々思っていたが、どこの事業所に入っても検温や、名前の記入をきちんとされている。初めてこの会議に出た時になかった。やはり襟を正して基本動作していただきたい。役所の入口も今は自動的に体温出る体温計があるので置いたらどうか。

【平井達夫会長】

事務局の説明を求める。

【高波次長】

検温については各自にお願いしているが、事務局でも行うこととしたい。た

だ、モニターで自動的に出る体温計はないので、手動式になる。

**【平井達夫会長】**

他にないか。

**【下鳥治委員】**

私は家族から消毒剤を持たされている。家には絶対にコロナウイルスを持ち込むなどということである。どうか皆さんも薬局で売っているので注意していただきたい。それともう1点、川瀬所長に聞きたい。今、地域協議会は何をやっているのだという話があった。かつ、板倉まちづくり振興会も先が見えないような事やっているじゃないかというような話がある、今後13区に脚光が当たるかどうか期待をしている訳だが、地域協議会あるいは振興会と抱き合わせの様な動きになってくると思う。その時に地域協議会もまちづくり振興会も自己予算というのが全くない。だから今、会長も言っていたがお金が無いと何もできない、発言力も弱い、そういった形がどうしても前に出てる。今後、地域協議会として、まちづくり振興会とタイアップして色んな今の問題点を解決していかなくてはいけない時代に入ってくると思う。今後、市長はどの様な事を言ってくるか分からないが、私達はそれに対する準備として、今後少し予算を付けていただくという様なことはできないのか。

**【平井達夫会長】**

所長の意見を求める。

**【川瀬所長】**

結論から申し上げますと、基本的には予算付けは難しい。ただ地域協議会には地域協議会の役割があるし、まちづくり振興会にはまちづくり振興会の役割があると思う。タイアップという事であったり、事業を行ったりするのであれば、色々な話をしたい。春先に私共と板倉まちづくり振興会とお話しさせていただいた時は、まちづくり振興会は現在ほぼ市の委託事業をやっているという事だった。他のまちづくり振興会に行くと自主事業を行い財源確保しているというような話もお聞きしている。私共としては市の委託だけではなく、自主財源を確保しながら板倉の為に何か出来ないかと思っている。観光面についても観光公社があるので、話をしていきながら、また一体となって何かできれば良いと思っている。予



算ははっきりと付けるというのは言えないが、そういう動きの中で精いっぱい一緒にやっていきたいと思っているのでご理解をお願いしたい。

【下鳥治委員】

私達が今審議している地域活動支援事業640万円というものは今後ずっと続くものなのか見通しを教えてください。

【川瀬所長】

非常に中々難しい質問である。この地域活動支援事業が例えば国の制度であれば法律とか何かで決まっておき安定しているが、予算事業で不安定であるため今後続くかどうかというのは何とも言えないというところでご理解いただきたい。

【下鳥治委員】

承知した。

【平井達夫会長】

その他については以上とする。

- ・ 会議録の確認は小林委員に依頼

【古川政繁副会長】

- ・ 挨拶

【高波次長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL0255-78-2141 (内線123)

E-mail:[itakura-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。